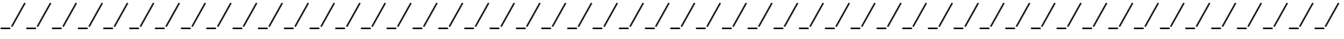


2005/12/12

《「産業保健おおいた」メルマガ版》

第 12 号

○ INDEX



- \* TOPICS
- \* 今月の Key Word【酸性雨】
- \* 労働衛生事例—酸化炭素中毒—
- \* 新着情報
- \* 研修・セミナーのご案内(12/13~2/15)

○ TOPICS

◆新型インフルエンザに関するQ&A

厚生労働省は、新型インフルエンザについて正確に理解し、その予防など冷静に対応できるよう「新型インフルエンザに関するQ&A」を作成した。

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou04/02.html>

○ 今月の Key Word【酸性雨】

森林を構成する針葉樹や広葉樹の枯死・衰退現象が世界各地で報告されています。わが国でも赤城山におけるシラカバ・カラマツ等の枯死、丹沢・大山・福岡県宝満山のモミの枯損、日光における森林枯死など広い範囲で森林枯死がみられています。樹木の成長と枯死・衰退には、水分のほか物理的要因、化学的要因、生物的要因などさまざまな環境要因が関係していますが、3 要因の中では水素イオン、栄養塩、汚染物質(酸性物質、酸化性物質、重金属など)、塩分などの化学的要因の関係が深いとされています。

被害は、森林だけでなく、わが国では1971年、9月23日の夜、東京・代々木駅周辺で霧雨が降り、通行人十数人が目に刺されたような痛みを感じた事件が発生しました。1973年には、静岡県や山梨県で霧雨時に目などの痛みを訴える事件が発生しました。当時、この事件は「湿性大気汚染」と名づけられました。その後、数年間同様の事件が多発し、1974年7月3日には北関東を中心に3万人以上の被害届が出されました。

被害は、建築物へも及び、欧米では、大理石等で建造された歴史的、芸術的遺産等の外観の変化すなわち腐食、変色などが注目されています。また、外国の調査ではサケ科、コイ科の魚類が酸性化の影響を受け湖沼から姿を消した例が報告されています。これらは、いずれも酸性雨(硫酸や硝酸を含む酸性の雨や雪や霧【湿性酸性降下物】あるいは、酸性大気粉じんや亜硫酸ガスなどの酸性ガス

【乾性酸性降下物】の総称)によるもので、化石燃料(石炭、石油など)の燃焼により硫黄酸化物、窒素酸化物が大気中に放出され、最終的に硫酸イオン、硝酸イオンなどとなって酸性の降雨又は粒子状物質として降下したことによるものです。

歴史的にみれば、20世紀になると、降水の酸性化は、ヨーロッパや北米では、国を越えた大陸規模の現象へと拡大しました。近年は、東アジアの工業化に伴いこれらの地域で発生した大気汚染物質が偏西風により日本へ長距離輸送され、欧米でみられたような国境をこえた広域の酸性雨の問題がひきおこされていることが注目されています。

わが国では、公害克服のため脱硫、脱硝装置の開発により硫黄酸化物、窒素酸化物の抑制に効果を与えてきました。しかしながら、大気汚染状況は、大都市において依然として窒素酸化物濃度が改善されておらず、汚染物質の輸送移動により酸性雨の地域はむしろ拡大する傾向にあります。

～「地球環境科学」「地球環境ハンドブック」朝倉書店～

○ 労働衛生事例—一酸化炭素中毒—2例—平成15年—

①鉄鋼業(90名)

【発生月】

12月

【被災者数】

中毒2名

【発生状況】

鑄鉄工場において、溶解炉より発生する排煙の集じん機の修理のため、防じんマスクを着用して集じん機内に入って点検作業を行っていたところ、2基ある溶解炉のうち作動していた1基の溶解炉より発生した一酸化炭素を吸入して、一酸化炭素中毒となったもの。

【発生原因等】

- ・換気不十分
- ・不適切な呼吸用保護具の使用
- ・作業標準未策定

②その他の事業(35名)

【発生月】

12月

【被災者数】

死亡1名

【発生状況】

電話ケーブル撤去工事現場の作業用のワゴン車内において、警備員が休憩をとっていたところ、ドアを閉めた状態のワゴン車内でガソリンエンジン式発電機を使用していたため、排ガス中に含まれる一酸化炭素が車内に充満し、これを吸入して中毒となったもの。発電機使用中はワゴン車の後扉は開いて使用していたが、被災者がワゴン車の中にいる時、何らかの理由によりワゴン車の後扉が閉まったものと推測される。

【発生原因等】

- ・危険性・有害性の認識不十分
- ・換気不十分
- ・適切な休憩場所確保せず

○ 新着情報

☆ 新着雑誌 ☆

- 働く人の安全と健康／12月号 特集◎プレス作業の安全対策
- 安全衛生のひろば／12月号 特集◎修理・点検中の事故を防ごう
- へるすあっぷ21／No. 254 特集◎健康日本 21 はどこまで進んだか？

### いずれの雑誌もセンターでご覧いただけます。

○ 研修・セミナーのご案内(12/13～2/15)

=== 衛生管理者等研修 ===

▼12月14日(水)

高脂血症を知ろう ～予防のための知識とノウハウ～ 【木下相談員】

▽1月27日(金)

事例から対策を探る～災害・職業性疾病防止のために～ 【若林相談員】

▼2月9日(木)

職場における感染症の予防 【明石相談員】

=== カウンセリング研修 ===

▼12月13日(火)

積極的傾聴～グループワーク～ 【佐用相談員】

▽1月10日(火)

事例検討 【佐用相談員・渡嘉敷 新典氏(シニア産業カウンセラー)】

▼2月14日(火)

積極的傾聴～グループワーク～ 【佐用相談員】

=== 産業医研修 ===

▼12月20日(火)

健康情報とプライバシー保護 【油布相談員】

▽1月12日(木)

職場における感染症の予防 【明石相談員】

▼2月1日(水)

生活習慣病予防～高尿酸血症・通風の予防対策～ 【細川相談員】

◎いずれの研修もお申し込み受付中!!  
ホームページからお申し込みいただけます。  
<http://www.oita-sanpo.jp/mail/kenshu.cgi>



メールアドレスの変更、配信停止、ご意見・ご感想は、[info@oita-sanpo.jp](mailto:info@oita-sanpo.jp) までお願いします。  
皆様のご意見をお待ちいたしております。

・・・最後までお読みいただきまして、ありがとうございました。・・・



発行:独立行政法人 労働者健康福祉機構  
大分産業保健推進センター  
<http://www.oita-sanpo.jp>

